

木下川の子ども



1957年度

~

2002年度

2年

一九五七（昭和32）年度

うそ

もうせんぼくは　かみしばいがきたので

おかあさんにおかねを　十円もらいました。

ぼくは、ソースせんべえを　かいました。きよ

うのかみしばいは　がんちゃん　とゆう　だいで、

とてもおもしろいでした。かみしばいがおわ

ったあとで、かんかんあめが　きました。そし

て、おかあさんに　また、十円　もらいました。

おかあさんが、「おせんべえ　しか、かつちや

だめだよ。」と、い　いました。ぼくは「うん」

と　い　い　ま　し　た　。　ぼ　く　は　う　そ　を　つ　い　て　か　ん　か　ん

あ　め　を　か　い　ま　し　た　。　ぼ　く　は　、　う　ち　へ　か　え　る　と

み　つ　か　る　か　ら　、　は　ら　っ　ぱ　で　た　べ　ま　し　た　。　た　べ

た　あ　と　で　、　う　ち　に　か　え　り　ま　し　た　。　う　ち　へ　か　え

っ　て　か　ら　、　お　か　あ　さ　ん　が　「　ち　よ　っ　と　。」　と　い　っ

た　の　で　ぼ　く　は　い　っ　て　み　ま　し　た　。　「　小　三　郎　、　お

ま　え　口　に　あ　め　が　つ　い　て　る　よ　。　か　ん　か　ん　あ　め　を

か　っ　た　ね　。」　と　い　い　ま　し　た　。　か　ん　か　ん　あ　め　を　か

っ　た　こ　と　が　わ　か　り　ま　し　た　。　「　小　三　郎　あ　め　は　か

っちゃだめだよ」といったのにと行って、ぼくは、おこられてしまいました。

一九五八（昭和33）年度

うちのとり

うちのとりはいつもけんかをしています。ときどきとりどうしでちをながすことがあります。わたしはえさをやりに行くとき、とりはとりごやの戸のまえをあっちこっちまごまごして、わたしのくるのをまっています。

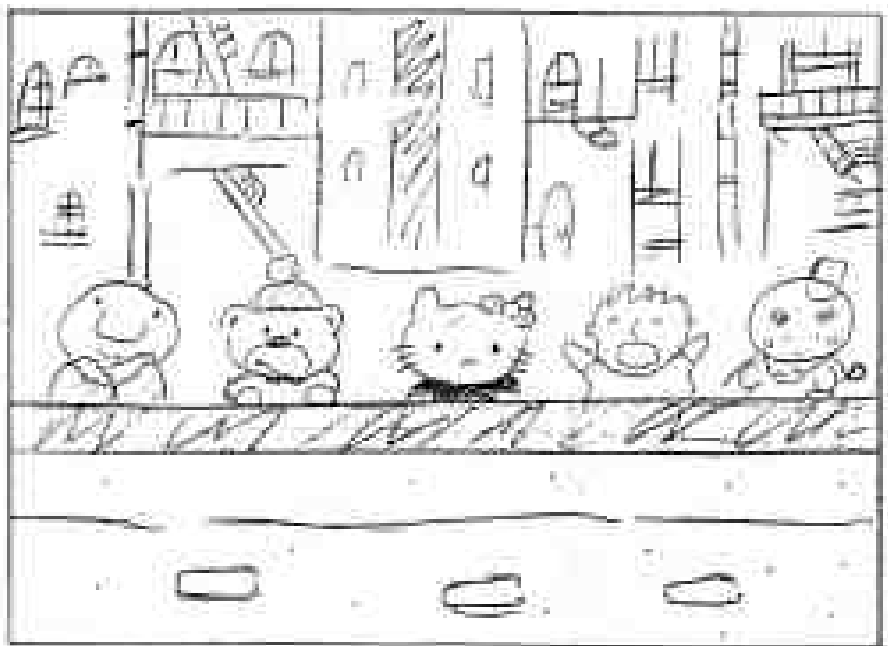
そしてわたしがえさばこにえさをいれてやると、えさばこをひっくりかえしてえさをこぼしたりします。わたしのかおを見ながらえさをたべています。とりごやから出してやると大よろこびで外に出てあそんでいます。わたしのげたの上のって、はねをばたばたひろげて「ココ、ココ」となくのです。わたくしはうちのとりはおりこうさんだなあと思いません。

一九五九（昭和34）年度

ぼくのしごと

ぼくは、あさはやくおきてじぶんのちやわ
んをあらいます。それから、ぼくは、きちん
とかばんを、せおってがっこうへいくのです。
それからぼくは、がっこうからかえっていく。
「ただいま。」というとおかあさんが、「おか
えりなさい。」といったのでぼくは、かばんを
おいてあそびにいきました。それからあそん
でいたら、きゆうに、ねむくなってじぶんで

おかあさんが、に
かいではたらい
いるうちに、ふと
んをしいてねまし
た。



一九六〇（昭和35）年度

十月二十二日

ぼくは、先生おこられました。ぼくは、な
んでこんなにきかないんだろう。くせにでも
なったのかなあ。

一九六一（昭和36）年度

友だち

このあいだ、ぼくの友だちがひっこしして
しまいました。ひっこししたのは日曜日で
す。よこはまの方へ行ってしまったのです。

お正月、年がじょうが ゆうちゃんからき
ました。

「まあちゃん あや子ちゃん 明けまして
おめでとうございます。」とかいてありまし
た。ぼくもそのてがみを読んで、すぐ書いて
出しました。そのゆうちゃんが、ひっこしし
たので ぼくはさみしい正月でした。
いまは、えざわくんが友だちです。まえの
ゆうちゃんは、まだぼくらが学校にあがらな

いまえからのお友だちでした。ゆうちゃんは
ぼくよりベンキようができます。ゆうちや
んのうちの子どもが、まあちゃんとよぶとき
がよくあります。ぼくはよくその子のことを
なかすときがあります。
よく ゆうちやんとぼくは かけっこをし
ます。でも、ゆうちやんのほうが早い。ぼく
はふとっているからです。五さいのときは、
ぼくの方が早かったのですが、いまでは、ぼ
くの方がおそい。そのゆうちやんが、いまは
ひっこししてしまいました。

一九六二（昭和37）年度

読書感想文

「まりちゃんといつじのぱたぱたん」をよ
んで

まりちゃんのうちは、びんぼうだから、か
わいそうだとおもいました。
くつした一足かえないのではだしなのです。
でも、ぱたぱたんが、あかちゃんを、どんど

んうむので、そのけを、うることになったが、そのけは、まりちゃんにしかあわなくて、うれないので。だから、わたしは、なにかあげたくなりました。でも、本なので、わたしは、ざんねんだと思いましたが。

一九六三（昭和38）年度

おつかい

ぼくはよる、おとうさんのたばこをかいにいきました。

おとうさんは、ハイライトをかってとたのみました。

「かえりに十円つかってきてもいいよ。」
といました。

ぼくはたばこやさんにいきました。そしておかしやにもいきました。

ぼくはあいをかいました。
まがりかどにいくと、いぬがもんからでてきて、あいをとろうとしたから、にげました。

ですけどまだおいかけてきます。

だからあいをすをおもいきりとおくのほうへ、
なげました。それでいぬがあいをすをおいかけ
ていきました。そのすきににげました。
そしてようやくうちにつきました。

一九六四（昭和39）年度

町工場の仕事

ぼくの家は、かわをなめすおしごとをして
います。なめすかわは、いなかのうかの人
が牛やぶたやうまなどをかって大きくしてか
ら、とさつ場でかわをはがされ、ぼくの家へ
おくられてくるのです。

そのときみると、赤いちがついているので
かわいそうだなあーとときどきおもいます。
そのかわをぼくの家でなめします。一ばんに
水につけよくあらい、かわのうらについてい
るあぶらをほうちようでけずりとりまします。そ
して、かわがくさらないようにしおづけして
あるものは、よく水であらいおとします。つ

ぎに、かわについている毛をぬくためにいし
ばいのはいつている水の中へ、一しゅうかん
から十日ばかりつけます。そのあいだは、ま
い日「トロツペ」といつてかわをうごかしま
す。それからかわについている毛をきれいに
ぬきとります。その毛はきれいにあらってか
わかしてうります。

その毛はハブラシなどにつかわれます。
つぎは、毛をぬいたかわは、きかいであつ
さをそろえてうすくすきます。そして、かわ
にしみこんでいるいしばいをぬくためドラム
の中へかわとくすりを入れてまわします。
つぎはクロームなめしというしごとにつ
ります。それはドラムの中へネオクロームと
いうくすりを入れ八時間ぐらいまわします。
そのかわを、あくる日だして、水でよくあら
つていろいろな色にそめます。そめたかわを、
かわかすのに一まい一まいぼうにかけてにか
いへつるします。そのとき色がついているか
わだとつてもきれいです。

また、たくさんのかわがぶらさがっている
と、ぶたがこんなにいるのかなあとおもうこ
とがあります。

つぎは、そのかわいたかわをまたドラムに
入れ、よくもみやわらかくします。だからぼ
くの家は、一日中あさからよるまでドラムが
ゴーゴーと、まわっています。つぎは、よく
やわらかくなつたかわを、かんそうきとい
う大きなはこのようなきかいで、一まい一まい
あみの上へはつて、かわかします。

それで、クロームというかわのできあがり
です。

「そのできあがつたせいひんはなんにつか
われるのですか」と、おとうさんにきいたら、
「くつなどのうらかわにつかわれる」といい
ました。

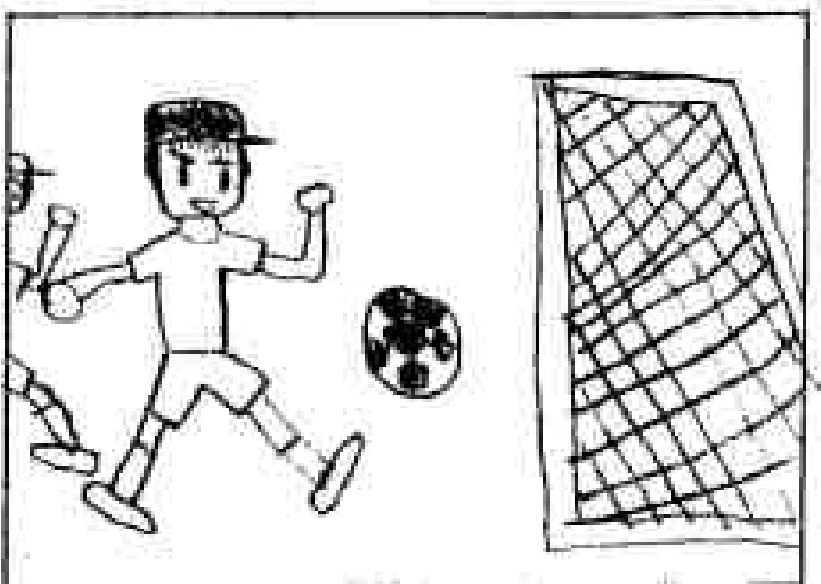
またよくできあがつたものは、とおくがい
こくへもうられていきます。ぼくはおとうさ
んやこういんさんたちがまい日こうばではた
らいているのを見ると、かわができあがるま

で、たいへんだなあと
おもいます

町づくりのねがい

一九六五（昭和40）年度

ぼくのうちの前のどての工じはもうおわり
ました。あたらしいどては、コンクリートで、
前にあった草はとられてしまいましたが、ぼく
のうちをちよつとあら川えきの方へ行ったと
ころは、まだ工じをさかんにやっています。
あたらしいどてができる前のことです。たい
ふうの時、どての方から水がうちへ入ってき
て、とてもこまりました。たいふうでなくて



も雨がふるといつも、どろ水がながれてきます。ぼくは、はやくこのどてができあがって、どうろになればいいなあ、と思いました。でももうへいきです。どてがあたりしくなっていて、どうろになるのですから、ぼくは、どての上をバスがおる日をもっていきます。

うちのねこ

一九六六（昭和41）年度

きょうはうちのねこがひさしぶりにはやお
きしました。いつもはすやすやねているのに
きょうだけはおきました。ぼくが本を見てい
るとねこがニヤオニヤオとないて本にのりま
した。ぼくは

「こら、やめないか。」

といつてもやめません。しまいにぼくはおこ
りだしてしまいました。げんかんまでつれて

きてぼくはねこに

「いけよ。いかないきか。」

といました。そしたらねこがおこってぼくの足をひっかきました。ぼくが

「いたい。いたい。」

といているうちにねこがにげてしまいました。ぼくが

「おにいさん、おかあさんよんできてよ。」

といたらおにいさんが

「よしよんできてやるよ。」

といてくれました。おにいさんがおかあさんをよんできてくれたのでおかあさんがぼくにであてをしてくれました。その夜ぼくがねるころニヤオニヤオというなきごえがしました。ぼくのかんはあたりました。やっぱりねこでした。ねこはくたびれたようなかおをしていました。

一九六七（昭和42）年度

おばあちゃんの手

わたしは、おばあちゃんの、手をみました。細いほねばっていました。そしてそのうえに、しわだらけでした。なんねんもはたらいたからです。おばあさんだからです。それにくらべるとわたしの手は、やわらかい手です。そしておばあさんは、みみがきこえないのです。わたしは、いつも大きな声でいいます。いつも、水を、いじっているからです。おばあちゃん、いつも夜に、なると「手が、いたい」といいます。わたしは、おばあさんが、手が、いたかったら「いしやへ、いけば、どうなのよ」といいました。おばあちゃんは「いいのよ」といいます。

一九六八（昭和43）年度

こくご

わたしは、がつこうへ、行くのをいつもたのしみにしていきます。なぜかというと、わた

しは、こくごが大すきだからです。がつこうのこくごのじかんになると、いっしょうけんめいに、先生のお話をきいて、そのこたえをかんがえます。だいたいのことたえはわかるけど、「ひこうきにのった。」というところのこたえはあまりわかりませんでした。

こくごの中でもにがてなものがあるからかもしれません。そのにがてなものはさくぶんです。だからさくぶんがかきかたのようにすらできたらどんなにうれしいでしょう。だからわたしはいつもさくぶんのことばかりかんがえています。でも、いっしょうけんめいかんがえながらやってもできないのなら、にがてなままでもいいと思います。でもやっぱりさくぶんだけはうまくなりたいです。だからこくごのじかんがたのしいです。

一九六九（昭和44）年度

おねえさん

うちのおねえさんは、うんどう会で走る時には、いろが黒いのでよく見えます。それからおねえさんは、ふとるからといってごはんやふとるものはあんまりたべないといっているのに、いつもいっぱい食べています。けんかをするとおねえさんがいつもおこられています。けんかをしないう時は、なかよくあそんでいます。おねえさんは、わらいじょうごです。とこやのバリカンでうしろのくびのちかくの毛を切っているとわらうのです。

一九七〇（昭和45）年度

おとうと

わたしのおとうとは、四さいです。なまえは正義です。正義はきかなくてわたしのもっているものをすぐほしがります。正義はかぜ

をひいていまおいしいやさんにかよっています。
ねつを出した時はいたずらなおとうとでもか
わいそうになります。色が白くてわたしとは
んたいです。ねている時だけかわいいので、
おかあさんに言ったら、「二人だけのきょう
だいなのだからなかよくしてね、」といわれ
ました。でもなかなかなかよくできません。
おとうとはうちの王さまです。

一九七一（昭和46）年度

おかあさん

うちのおかあさんはいつもはたらいしていま
す。ひまなときはいつもひるねばかりしてい
ます。ときどきバトミントンや本をよむとき
もあります。けどやすみの日は、わたしのい
うことをきくこともあります。そんな日は、
おかあさんのかおもにここにしています。や
すみじゃないとき、わたしがだいどころにい
くと「じゃまだからうちへいつていなさい。」

とおこります。だからいつも夜になるとわたしはいもうとといっしょにテレビをみます。夜になっておかあさんはかえってきます。おかあさんはいち日中はたらいたいへんだとおもいます。家の中でおかあさんとこたつでおかしをたべたりまるのがわたしは好きです。だからおかあさんも、「もっと休みがおおければいいのね。」とはなします。おかあさんがはたらいている時はいいにおいがしてきます。おかあさんは、「今、手がはなせないからおすしでもとってたべなさい。」という時もあります。そんなとき私はやなきもちがします。おかあさんはどんなきもちかわからないけど手もはなせないくらいいいそがしそうです。おかあさんは私のおっちよこちよいだから、いつけがをするかわかりません。

一九七二（昭和47）年度

せんせいへ

せんせい、六年生までずうっといて下さい。

それに、みんなが百点になるまでがんばって
テストをだしてくださいね。これからもつと
がんばってくださいね。

一九七三（昭和48）年度

おもちをたべたこと

うちではあおもりや、かいしやおばさん
にもらったりしているからおもちがいっぱい
です。たるが二こあったからそれにみずをい
れておもちをいれておきます。まだおもちが
あまっているからもうひとつのたるに入れて
ぎりぎりでした。そしてあさは、まいにち、
おもちです。でもおそくおきると、おもちじ
やなくてパンとこあです。だからまいにち
おもちがたべたいからはやくおきます。そし
て日よびのあさはかぞくでおもちをすとう
ぶでやいてできあがったら、おしよゆをお
さらにいれておもちにしようゆをつけてたべ
ました。でもうちのいぬがほしがっていたの
でおもちをあげました。きようは一日たのし

かったねとおかあさんにいってねました。

一九七四（昭和49）年度

かわいそうだったこと

きのう、わたしが学校からかえってきてから、そろばんにいつて、あじさいこうえんの前にきたら、女の子がオーバーをきて、ぶらんこにのって男の子に、「雪女」と、いわれていたのでした。わたしは、かわいそうだ

ったのです。それに、そろばんの時間も、まあだまあだ、おそいからあそんでいきました。そしてその女の子とあそびました。名前はしらないけど、かわいかったです。「お家どこなの」と、わたしはききました。もしたら、「平井のほう」といいました。「おかあさんは」とわたしはききました。「わたしのお家よ」と女の子は、いいました。「どうして、きたの」と、わたしはききました。「わたしのお友だちときたの」と、おんなのこはいい

ました。「どうして、お友だちと、かえらな
かったの」と、わたしはいいました。「だっ
て、お友だちは、おかあさんごっこ、どう
ぐみつけてくるっていったのに、家に、かえ
っちゃったんだもの」といいました。「きよ
つけて、かえるのよ：」と、わたしはいいま
した。そして、そろばんにかえりました。

一九七五（昭和50）年度

十二月十五日（月）

学校の帰り、ほりこしさんと大つかのどこ
ろで赤ちゃんに会った。ほりこしさん「ベロ
ベロバー。」とかやって、あたしの方をゆびさ
して、「この人、ねずみ。」とかいったから、
あたしがほりこしさんゆびさして、赤ちゃん
に「この人、デカよ。」とかいった。わたしが
赤ちゃんに「ベロベロバー。」っていったら、
赤ちゃん、しんけんに見てた。きょうは、よ

そのうちの、ほそい犬に、パンあげなかった。

十二月三日

一九七六（昭和51）年度

きょうは、サリドマイドのたかしくんをみました。あざらしのてみたいにうまれていたときからなっていました。でもゆびは二本しかありませんでした。でもことばははつきりしています。げんきいっぱいです。わたしは「かわいそうだなあ。」といました。おにいちゃんはなみだをながしていました。それまではすこしかわいそうだったけどこれからたいへんです。たかしくんのゆびはちゅうがくせいなのにまだのびません。でもたかしくんは、そんなときにしないでがっこうにいってきます。一ねんときはみんなに、「あ、バルタンせいじんだ。」といわれたのにほんとにきにしませんでした。たかしくんよりがんばろうとおもいました。

十二月七日

水曜日 はれ

一九七七（昭和52）年度

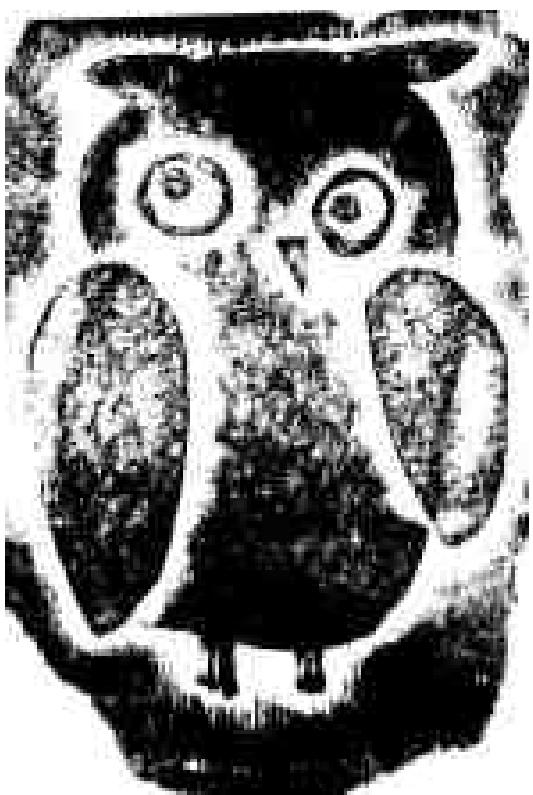
きょうは、西はちでぼくとまさるくんとゆきおくとやきゆうをやりました。ぼくとゆきおくんがくみました。ぼくはホームランをうちました。ぼくはこれでホームランをうったのは一九九本をうちました。でもきょうのホームランはすごかった。ボールがなくなりそうになりました。

三月五日

一九七八（昭和53）年度

学校から帰る道にぺんぺん草をみつけた。わたしは春にぺんぺん草がさくのかと思いましたが。とても花がきれいなので、家まで一本もっていきました。家に帰ってからおかあさんに、
「ぺんぺん草もってきたよ。」
と、いった。わたしは、ただいまをわすれたと気がつききました。ぺんぺん草のことばっか

てきてくれました。夕ごはんを食べてから、
一時間くらいたって、おねえちゃんとおにい
ちゃんとおわたしでケーキを食べました。シヨ
ートケーキにたケーキです。とってもおい
しかったです。



一九八一（昭和56）年度

おとなになったら

おとなになったら、ぼくは、レストランの
コックさんになりたいです。そうしたら、ス
テーキとカスーパとかいろいろなものを作っ
てみたいです。しゅぎょうをつんで、ベテラ
ンになりたいです。レストランには「なんで
もや」という名まえをつけたいと思います。
あと、金もちになりたいです。金もちになっ
て、そう理大じんになりたいです。

一九八二（昭和57）年度

二月十四日（月）

学校から帰ってくると、えみ子ちゃんがきていました。二月十二日に、アメリカ大サーカスへ行ったことをはなしてあげました。えみ子ちゃんは、「おもしろかった、それともこわかった。」と聞きました。わたしは「少しこわかったよ。」といました。はじめて、ホワイトタイガーを見ました。十七とうもでてきて、びっくりしました。さるのなかまで一番らんぼうなマンドリルが五とうもでてきました。八才をすぎると、はなが赤くなってほっぺたが水色になります。きれいでした。くうちゅうブランコをはらはらしてみていました。

一九八三（昭和58）年度

二月十八日（土）

きょう、学校で雪だるまをつくりました。

すな場で作りました。はじめ、手でまるめてから、どんどころがしました。大きくなっ
ていきました。大きい雪だるまがひとつ、小さい雪だるまがひとつできました。

一九八四（昭和五九）年度

十一月十八日

今日、学ばい会で六年生もよくできていたし、四年生は、おもしろくできていて、はせ川くんがいったところがおかしくて、わたしは、わらってしまいました。二年生のどんぐりのたびのスマツグのところを、みんなおもわず「あはは。」とわらいました。でも、ほかの人のげきもおもしろかった。でも、五年生がやったげきは、たのしくはないけど、とってもいいげきだった。なんで五年生のげきで、しんちゃんが出てこなかったのかなと思った。みんなの歌もうまくできていた。校長先生のはなしもながかった。一年生のはとつてもい

いアイデアだと思った。一年生のげきと三年生のげきは、みられなかったけど、六年生のとかみられたから、とてもうれしかった。おわりのことばがおわってやっとおわりになった。とってもたのしかったです。

一九八五（昭和60）年度

二月二十一日（金）

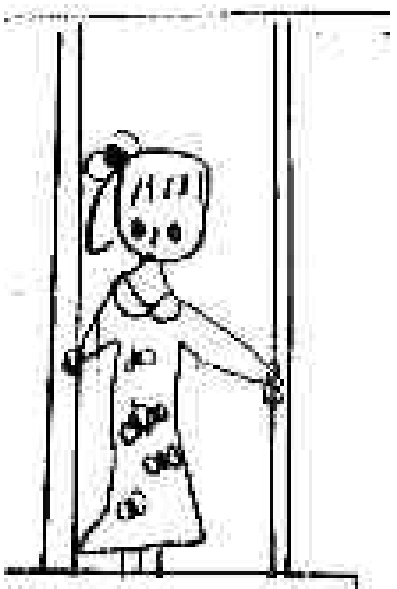
まえの、金よう日に、ふくしかいかんのずこうで、レーシングカーをつくりました。じょうずにできたのに、ともだちにそのレーシングカーをこわされた。くやしかった。ぶひんは、もうないからつくれない。でも、車のタイヤだけがこった。また、じぶんでもかたちをつくってさいしよからやりなおそう。

一九八六（昭和61）年度

十一月七日（金）

いとうくんとぼくであそびました。「本多

くん」といったから、おかあさんが、「本多くん、いる。」っていったから、ぼくは、いとうくんがきたんだなあと思いました。ふたりでリスのチツチとふざけっこをしてチツチはようふくの中に入りたがりやだから、ぼくのようふくの中にさいしよ入って、つぎにいとうくんの中に入って大さわぎになってしまいました。



一九八七（昭和62）年度

十二月二十七日（日）

きのう、山田くんとあそびました。ともはるくんをむかえにいった、西八こうえんに行きました。

そして、おかしやさんに言って、ともはるくんが、あいすをかいました。あいすがあったから、あいすをもらいました。もらって、うれしかったです。

もし、ともはるくんがいて、ぼくがあいす
をかって、あつたら、おかえしにあげます。

一九八八（昭和63）年度

一月四日（水）

きょう、家の前で千円をひろいました。わ
たしとお母さんで交番にとどけました。わた
しが、おまわりさんにじゅうしよと名前と電
話番号、ひろった場所を教えてあげました。

おまわりさんが、

「七月の十六日までにこなかったら、尚子ち
やんに千円をあげますから、来てください。」
といました。わたしはラッキーと思いまし
た。

一九八九（平成1）年度

三月五日（月）

きょう、ゆうびんきよくで時計を買うので
ちよ金を三千円おろしました。おとし玉でも

らったお金をおろしました。かねちゃんちのそばのサムライで買いました。うで時計みたいなかたちの時計を買いました。千五百八十円で買いました。しょうひぜいがかかって千六百二十七円でした。

一九九〇（平成２）年度

十一月二十二日（木）

今日、さとちゃんちで、たつくとまこちやんとゆうすけくんと、一年生のかねこくんと、さとちゃんとおたしで、かくれんぼをやりました。

まずたつくんがおにでした。だから車にかくれました。ゆうすけくんがまどから外をのぞいていたから、ゆうすけくんがおにです。油が入っているところにかねこくんをぬかして、みんなかくれました。つぎはかねこくんがおにです。こんどは皮がいつぱいあるところにかくれました。皮をかぶっていたので、一番さいごまで見つかりませんでした。それ

から家に帰りました。おもしろかったです。

七月九日

一九九一（平成3）年度

きのう、木じやくんの家でかねこくんのお
たんじょう会をしてくれることになっていて、
学校からかえってきて大つかでまちあわせを
しました。みんなきました。さっそく木じやく
くんの家にいきました。スプライトでかんぱ
いをして、おかしをたべました。オセロをし
ました。それからふくしかいかんにいって三
どぶつけをしました。いとちやんと木じやく
んとひできくとまこちやんでバドミントン
をしました。
家にかえってしゅくだいをやっていたら、
おかあさんが、ぼくのしゅくだいをやってい
るのを見て、
「すごいね。」
と
いいました。うれしかったです。

一九九二（平成4）年度

七月二十一日（火）

さいしよに自てん車にのったけど、だめだった。プールに行つて帰つてから、お母さんとれんしゆうした。ちよつとうまくなつた。ごはんを食べてまたやった。道路でころんだけど、またれんしゆうした。家に帰つて、もう一回れんしゆうにいったら、道路で乗れるようになった。やつと夜ごはんを食べた。おいしかった。

一九九三（平成5）年度

春の中で

四月十八日（日）

日曜日の朝です。これから、じんだい寺に春を見に行きます。九時三十分より早くついで、あくのをまっています。赤や黄色や白のチューリップがきれいでした。パンジーやたんぽぽもたくさんさいていました。広くてあつくて、春がいつぱいでした。お母さんとお父さんは「しだれざくらがきれいだ。」と言

いました。「また来よう。」と言いました。大きなしよくぶつ園も見ました。

一九九四（平成6）年度

二月四日（土曜日）

今日、さねくと一時半に遊ぶやくそくをしているので早く昼はんを食べていそいでさねくんの家に行きました。ぼくは、おじいちやんに「こんにちは、おじやまします。」と言いました。

ファミコンをしました。少しだけローラーブレードもしました。ぼくは、ぜんぜんすべれないでころびそうになってしまいました。けれど、早くさねくんみたいにすべれるようになりたいなと思いました。家に帰ってべん強しました。夕食はギョウザなので皮に具を入れるを手伝いました。おばあちゃんのはかっこいいけど、ぼくのはかっこわるかったです。けど、「食べてみるとあじは同じだからだいじょうぶよ。」と、お

ばあちゃんと言いました。

一九九五（平成7）年度

きょうだい

一月二十五日（木）晴れ

今日、ふくし公園で、ひでともくんと明な
ちゃんと愛と高ゆきくんといっしょに、にん
じゃごっこをしました。ぜんいんきょうだい
で、愛より上の人に「にいさん」といったの
は、はじめてでした。一番大きい人はひでと
もくんで、二番目に大きいねえさんは明なち
やんで、三番目は愛で、四番目は高之くんで
した。高ゆきくんは一番下なので、愛のこと
を「ねえさん」といったのでうれしかったで
す。そしてにいさんがどくぐすりをのんでわ
るい人になって、それをたすけたりしてたの
しかったです。本当のきょうだいになったみ
たいでうれしかったです。愛はそういうおも
いがないので、おもいできてうれしか

ったです。あそぶ中だけでなるのではなく、ゆめの中でなるときもあります。きょうだいていいな。いるとすごくいいのにな。妹か弟かどっちかつくってくれたらいいんだけどな、と思いました。

一九九六（平成8）年度

かわいことりの赤ちゃん

かすや先生が、六年生とあわのに行っているあいだに、ひなが生まれました。だいいはっけんしゃはわたしです。たまごのからを見つけたのは、たつやくんです。わたしは、「なんか赤いものがあるよっ。」
と、いったら、みんなとりかごのまわりをかこんで、見たら、赤ちゃんがとりのすにいました。みんなおどろいてしまいました。わたしは、そのことをはやく先生におしえてあげたかったです。とてもうれしかったです。今は、とても大きくなりました。だけど、

ちよつとあまえんぼです。もう自分でキャベツやえさをたべられるようになりました。

せんとぅ

一九九七（平成9）年度

二月四日（土曜日）

きのう、父ちゃんといっしよにせんとぅに行きました。おゆがとってもあつかったです。だけど、ぼくはがまんして入りました。父ちゃんはとってもあつかっていました。シャンプーをしていたら、シャンプーが目に入りました。とつても目がいたかったから、「目にシャンプーが入った！」と言いました。せつけんて体をあらっていたら、手がすべつてせつけんがあなに入りそうになりました。それから、せつけんて足がすべつてころびました。はなじが出ました。ティッシュをはなに入れて、ふくをきました。それから、上むきになってねました。5分くらいたって、やつとはなじがとまりました。ぼくに父ちゃんが

「さきに帰ってる。」と言ったから、ぼくは先に帰りました。またはなじがでないように上むきになってねました。とつてもおゆがあつかったけど、気もちよかつたなあと思いました。

一九九八（平成10）年度

二月一日

金曜日の朝、おきたらきもちがわるかつたので、おかあさんに、「きもちわるい。」といいました。そしたら、おきたら、おかあさんが、「やすみなさい。」といいました。ぼくは、休むのがいやだったので、「やだ。」といいました。おかあさんがれんらくちようにかきました。そして、おかあさんが、「きもちわるかつたら、むかえにいくからね。」といいました。学校に行ったら、やっぱりきもちがわるくなつて、ほけんしつでねていました。そめや先生がおかあさんにでんわをしてくれました。二時ごろ、おかあさんがむかえにきてくれま

した。ずっとまっていたので、うれしかったです。いえにかえってからおいしやさんにいきました。くすりをもらってのみました。つぎの日のあさ、なおりました。

一九九九（平成11）年度

十二月十四日（火）

きょう、おかじ先生が新しいこまをもってきました。

それから、みんなでマーカ―で色をぬりました。みんなしんけんの色をぬりました。みんなひもにもしるしをつけました。

それから、みんなでまわしました。ひさしぶりだったので、一番さいしよにやってみたら、まちがえました。二回目にやってみたら、できました。わたしは大声で、「できました。」と言いました。

それから、きゆう食とそうじが終わったら、一年生にも教えてあげました。そうしたら、

もえ子ちゃんができました。あしたも一年生に教えてあげたいと思っています。

二〇〇〇（平成12）年度

二月十三日（火）

月曜日に、バレンタインチョコを作りました。さいしよに、ほうちょうでチョコをきりました。チョコは、かたかったです。お母さんとこうたいこうたいにきりました。おゆをわかしました。そのあいだに、ハートの形をわけました。おゆがわきました。チョコをとかしました。カップにチョコを入れました。むずかしかったです。三十九こ作りました。この日は、そのままかためました。つぎの日、はなもようのふくろに一つずつ入れました。クラスの男の子ぜんいんに、あげました。よろこんでもらえるといいなとおもいました。うちでも、おじいちゃんとおじさんにあげました。おじいちゃんは、「ありがとう。」と言いました。おじさんは、「うれしそうに、う

まいね。」と言いました。作るのがたいへんだ
ったけど、よろこんでくれてよかったです。

二〇〇一（平成13）年度

おまつりにいったよ

九月十一日（火）

土曜日、おばあちゃんの家の方で、お
まつりがありました。

そして、さいしよにかき氷を買いました。
ラムネも買ったのんでおいしかったです。

おひるに、おじいちゃんとおばあちゃんと
おとうさんとおかあさんともうとと、おま
つりで買ったやきそばをみんなでたべておい
しかったです。

おひるをたべた後、おとうさんは、はいし
やに行きました。おかあさんは、家にかえつ
てしまいました。

ぼくと、いもうとは、おばあちゃんの家
におとまりするので、楽しみでした。いもうと
のたんじょう日もやって楽しかったです。

日よう日は、だしを引っぱったり、たいこをたたいたりしましたが、と中で雨がふってきたので、ちよつとざんねんでした。でも、楽しかったです。

二〇〇二（平成14）年度

さいごのうんどう会

きょうは木下川小学校のさいごのうんどう会です。そのせいか朝からきんちようしていました。大玉おくりではれんしゅうの時にころんだので、本ぼんではころばないように気をつけてやりました。一、二、三年生のダンス、チョンマル・サランヘヨは手にきれいなかんこくのきれをつけておどりました。三つのやのようなかたちになるところがむずかしかったけれど、れんしゅうの時にいっしょうけんめいにやったので、まちがえないでおどれました。おかあさんは「とてもじょうずだったね。」と喋ってくれました。玉入れでは、

わたしはさいしょにたくさん玉をもって、それを一つずつなげていきました。だんちのおじさんやおばさんとおとうさんが「バレーボールのせん手みたいにじょうずだね。」と、入れ方をほめてくれました。一かいせんも二かいせんも赤が勝ちました。すごく、すごく、うれしかったです。リレーはじぶんなりにいっしょうけんめいにはしってがんばったけれど、まけてしまいました。ちよっとくやしかったです。ことしのうんどう会にはわたしのだんちの人がたくさんきて、おうえんしてくれました。こんなにたくさんきてくれたのは、ことしが木下川のさいごのうんどう会だからだと思えます。ほんとうは、わたしは六年生になるまで木下川にいたいです。友だちも木下川にずっといたいといっています。ことしのみんなで力を合わせた木下川さんごのうんどう会を、わたしはけっしてわすれませぬ。いい思い出ができました。

